

阪神淡路大震災の対策担当

相になつたのは、震災発生  
(平成7年1月17日)から3

日後だつた。村山(富市首相  
当時)さんから「省庁間調

整も含め専任でやつていた  
きたい」と言つた。すぐさ  
ま現地に飛び、悲惨な状況を  
見て「これは命がけでやらな  
いかん」と思つた。

国会対応と日曜のメディア  
対応を除けば現地で陣頭指揮  
をとつた。「一切をやる」と  
腹を決めたから、超法規的措  
置も使つた。超法規でもやる  
と首相らに相談したが「お任  
せします」というのでばつぱ  
とやれた。

当初の課題は被災者の生活  
支援だった。仮設住宅は兵庫  
県から3万戸の要望が来た。  
官僚主導なら2割減らそうか  
となるだろうが、私は逆に4  
万戸の建築を命じた。最終的  
には4万8千戸になつた。

しかし、国内の在庫は2千  
戸しかなく、カナダや米国、  
韓国などからも手配した。建  
設も当初ははかどらなかつた  
ので、日本の業者の社長を全  
員集め、「土日返上で急ピッ

# 超法規的措置 決断するとき

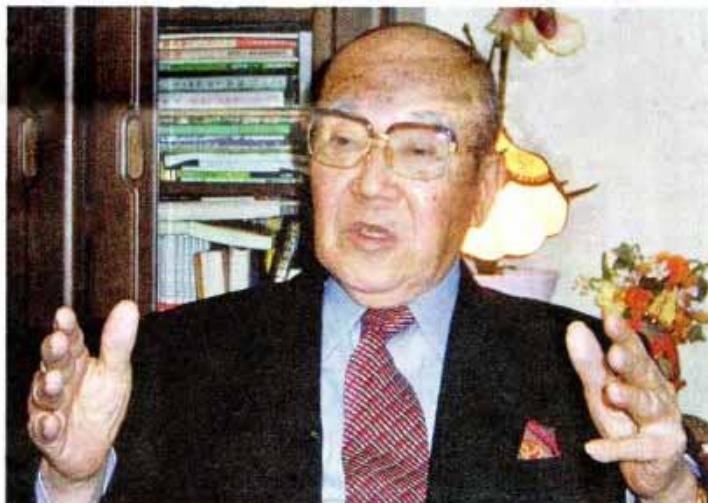
チでやつてくれ」とお願ひし  
て作業にあたつてもうつた。  
その次は、復興の障害とな  
るがれきの処分だった。

## 公費負担は即決

現場を回つて個人に負担さ  
せるのは大変だと思い、公費  
でやると即座に決めた。大蔵  
省(現財務省)から来た官僚  
が「公費と言わぬ方がいい  
ですよ」と言うのを「計算す  
るな」と一蹴した。お金を気  
にして復興が遅れてはいけな  
いという気持ちがあつた。  
がれきの集積場も要る。森  
林法や農地法の手続き、許可  
も一切やらず、六甲山の裏や  
神戸港に集めるなどを決め  
た。

## 單刀直入

### 小里貞利元地震対策担当相



おざと・さだとし 昭和5  
年、鹿児島県生まれ。同県議を  
経て54年に衆院初当選。労相、  
総務庁長官、自民党総務会長を  
歴任。野党時代の党国対委員長

として政権奪還に尽力したこと  
も。整備新幹線建設を推進をと  
り、「ミスター新幹線」の異名をと  
った。平成17年に引退。ハーレー  
ダビッドソンが愛車。80歳。

東日本大震災のこれまでを  
見ると、菅(直人首相さんや  
枝野(幸男官房長官)君がや  
つていらっしゃるんだ」とい  
う感じがする。2人の真摯な  
取り組みは評価するが、史上  
初から官邸での震災対策本部  
を細分、分担して関係省庁か  
まれにみる震災への対応をこ  
の仕組みで果たせるのか、他  
の対策はやつていけるのか。  
どうすればよかつたか。当

ら人材を集めることだったろ  
う。

## 計画が見えない

県や市町村の現場は動き出  
しているのに、総合的な対策  
を取りべき東京からなかなか  
計画が見えない、誰がやつて  
いるのか分からぬ、というのが  
被災地の思いではない  
か。

枝野君が原発対策や震災対  
策で記者会見しているけれど  
も、彼は本当の責任者な  
のか。菅さんはたまにあいさつ  
程度のコメントを出すだけだ  
。

司令塔としての首相の役割  
は、官邸の奥の方で肝を据え  
て座り、「情報を持つてこ  
い。俺が総合的に調整する」  
というところにある。電力会  
社へ行つたり、ヘリで飛んだ  
りとコソコソして、最高司令  
官が不在になつてはならんの  
だ。

(今堀守通)